

地熱発電に対する理解促進事業費補助金

平成29年度予算額 **12.0億円（22.0億円）**

事業の内容

事業目的・概要

- 地熱発電は、自然条件によらず安定的な発電が可能なベースロード電源の一つであり、我が国は世界第3位の資源量（2,347万kW）を有していることから、その導入拡大が期待されています。
- 一方、地熱開発に当たっては、開発に不安を有する温泉事業者を始めとした地域住民等の方々の理解醸成が必要です。
- このため、本事業では、地熱発電に対する正しい知識の共有や、地熱資源を活用することによって得られる地域的なメリット等について理解を深めるための勉強会等に対して支援を行います。また、地熱発電後の熱水利活用等を通じて、地域住民等の地熱開発に対する理解を促進する事業等についても支援を行います。
- これによって、地域との共生が図られた地熱開発を促進します。

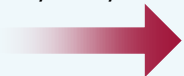
成果目標

- 本事業を通じて、毎年の採択件数のうち、地元理解段階から実際の調査段階や建設段階等の次のフェーズへ移行する割合を3割程度とすることを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

補助（1/2、2/3、10/10）

国



民間団体等

事業イメージ

1.理解促進支援事業＜補助率：1/2、2/3、10/10＞

地熱に関する勉強会や協議会など、地域住民等の地熱開発に対する理解を促進する事業について支援を行います。

また、地熱発電後の熱水利活用事業等、地熱のメリットを活かした事業を行うことにより、地熱開発に対する理解を促進する事業についても支援を行います。

- ①勉強会等事業（開発規模100kW以上）＜補助率：10/10＞
- ②地熱利活用事業
 - ・開発規模5,000kW以上＜補助率：2/3＞
 - ・開発規模100kW以上5,000kW未満＜補助率：1/2＞

＜地熱開発に関する勉強会＞



＜地熱を活用したハウス栽培事業＞



2.温泉影響調査等事業＜補助率：10/10＞

地熱開発地点の周辺の温泉において、万が一何らかの理由により温泉の湧出量等が過度に減少した場合に、温泉井戸の代替掘削について支援を行います。 ※対象は開発規模5,000kW以上

本事業を活用した成功事例

＜協議会を通して地熱開発を理解＞



＜地熱開発に対する住民の理解が得られ、調査に合意＞



次の
ステップへ